



エンジェルあいね姫



あいね



目次

| | |
|---------------------|---|
| エンジェルあいね姫 | 1 |
|---------------------|---|

エンジェルあいね姫

あいねはこの国のお姫様です☆

お母さまとお父さまが養ってくださいます。

今日は一人で、人生ゲームで遊んでいると、窓がぱっと開き、1羽の天使が現れました。

「きらきら可愛いあいね姫。
私は天使のガブリエルです。
あなたに飛ぶ力を授けましょう。」

「え？ 飛ぶ力??
あいねみたいな醜い子どもが飛べるとは
思えないです。」

「あいねは十分プリティーガール。
あいねより可愛い子はいないのです。
では、行きましょう！
夢の世界へ！！」

「ど、どうやって飛んだらよろしいでしょうか？」

「飛ぼうとすれば飛べます！ 強い意志で！！」

「飛ぼうとすれば..... あっ、飛べる！ 私飛んでる！
きっとハヤブサよりも速い！！」

「誰よりも優雅に舞うあいね姫。
その鱗粉はすべてのものを幸せにするのです。
さあ！ 一緒に飛びましょう！！」

「はい！！」

☆ ☆ ☆

「いやあ、夜景がきれいですねえ。」

「君はお城を出たことがないんだね？」

「はい。ママとパパは過保護ですから。」

「宝物はきれいにタンスの中にしまっておきたいものです。
では、庶民の暮らしを見るために、スーパーへ行きましょう！」

「スーパー？」

「純粹無垢のあいね姫。
清らかすぎます。
おいしいものがたくさん売っているんですよ。」

「ぜひ、行ってみたい！
いろいろ食べてみたい！！」

「では、行きましょう！！ スーパーへ！！」

☆ ☆ ☆

「うわあ～、広～～い。」

「あいね姫に気に入る物があればいいのですが。」

「これはな～に？」

「これはアボカドですよ。
もう熟していますね。
お醤油と一緒に食べるとお刺身になるんですよ。」

「お刺身！ 食べたい！！」

「じゃあ、かごに2つ。」

「これは？」

「これは、牡蠣ですね。
ちょうど、試食がありますね。」

「私食べる！！」

あいねはそっと牡蠣を口に運んだ。

「何これ！！ 不思議な味！！
おいしい！！」

「よかった、よかった。」

「これは、商売ね！
私お店開く！！
牡蠣専門店、あいね with 牡蠣を！！」

「え、ええ～～。」

「早く、行きましょ。」

私はガブリエルの手を引いて、飛んでいくのでした☆

☆ ☆ ☆

あいねはお父さまに融通してもらい、
お城の片隅にお店を開いたのでした☆

あいね with 牡蠣を！！

「まさか、お店を開くなんて……。」

「私の商売っ気はすごいんだよ！！
誰にも負けないのだ！！」

「美しいあいね姫にこんな一面が……。」

「あいねは今日は半額セールをします！
昨日、お父さまにチラシ配ってもらったし、

絶対来るはず☆」

「だといけど……。」

あいねの予想、見事の中！

あいねは牡蠣をバターで焼き、
ガブリエルはウェイトレスとして、
お店の中を奔走しました！！

「お客さんには、終始笑顔！！
そして、ご飯は大盛だよ！！
スパイスで風味をつけて栄養満点！！
お客様は神さまなのです！！」

あいねは一日中牡蠣を焼いて過ごしました☆
ガブリエルも奔走しました。

あいねのアボカド生牡蠣丼は絶品で、
遠い地方からもお客様が来ました。

あいねはそれはそれはリッチになりました。

「う～～ん、どうしよう、こんなに要らない。」

「どうするのです、あいね姫？」

「もうすぐ、クリスマスかぁ～。」

「そうですね、あいね姫。」

「決めた！ あいねはサンタクロースになる！！
空からばらまく！！ 決めた！！」

「え、ええ～～～。」

「ガブリエルはトナカイ役だよ。
一緒に行こ！！」

「はい！」

「サンタクロースが街にやってくる♪

You better watch out
You better not cry
Better not pout
I'm telling you why
Santa Claus is coming to town ♪

気をつけてね
泣かないように
ふくれっ面しないように
なぜか教えてあげるよ
サンタクロースが街にやって来る♪

He's making a list,
And checking it twice;
Gonna find out Who's naughty and nice.
Santa Claus is coming to town

サンタクロースはリストを作って
2回もチェックしているよ
だれが悪い子か良い子か見つけようとしてるんだ
サンタクロースが街にやって来る♪」

「サンタ役も楽しいですね！」

「みんなが笑顔でありますように。」

与えなさい。
そうすれば、あなたがたも与えられます。
詰め込んだり、揺すって入れたり、盛り上げたりして、
気前良く量って懐に入れてもらえます。
あなたがたが量るその秤で、
あなたがたも量り返してもらえるからです。
ルカ6：38

あいね姫は神さまに喜ばれ、
生涯幸せに暮らしましたとき。

おしまい♪

あとがき

最後に向かう伏線を張らないと、
ちょっと意地悪なんだなど、
後で気づきました(*_*)
書いてて、私の商売っ気も
まだまだなんだなと思いました。
もうすぐクリスマスです♪
お祝いすれば幸せにw

神さまは私たちのことを愛しておられるのです☆

児童小説にならなかつたあああ。
悔しいい!!!

アーメン。

2021/12/22

あいね

参考文献 新改訳 2017 聖書

あいねブログ

主イエスの恵みがあなたに

<https://ameblo.jp/lapis-2019/>

エンジェルあいね姫

著 あいね

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
